

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18004	1	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	生命倫理学 (Bioethics)				
担当教員名	山本 伸裕				
授業の概要及び到達目標					
<p>ヒトは肉体を有する存在である。その限りにおいては、ヒトの身体はモノであると言える。だが、「いのち」とともにある「人間」の身体は、単なるモノとして扱われるべきではないであろう。その意味でも、人間のケアにあたる仕事が医療の現場においては、「いのち」ある「人間」という視点に立った「倫理」のあり方に向き合う姿勢が強く求められることになる。</p> <p>この授業では、パターンリズム、自己決定権、パーソン論、QOL と SOL など、生命倫理学で扱われる基礎的な議論をひとつお押しさえたうで、医療の現場で実際に起きた具体的な事例などをおとして、背後にある倫理的課題を様々な角度から、深くえぐることをしたい。また、日本人の死生観に独自の倫理のありようについても、随時、触れていきたい。</p> <p>なお、毎回、授業の冒頭で、講義のテーマに関わる 15 分程度の映像資料を視聴する。</p>					
準備学習等					
<p>生命倫理をめぐる諸問題には、正しい答え、究極の答えなどない。近い将来、医療の現場に携わる人間として、答えのない問題に関心をもって目配りするように心がけてほしい。</p> <p>下記の「授業計画」を参照し、指定の教科書や参考書を予習・復習に十二分に活用するとともに、毎回のテーマに沿ったニュース記事などを、各自インターネットや新聞などで調べておくこと（1 時間程度）。また、映画やドラマ、小説などにも、生命倫理をテーマとした作品は多いので、積極的に活用してほしい。指定した教科書以外にも、生命倫理を扱った本は数多く出版されている。各自が興味のあるテーマについて見識を深め、試験に備えておくことが望ましい。</p>					
成績評価の方法	試験（持ち込み不可）80% 小テスト 20%				
テキスト	小林亜津子『看護のための生命倫理』[改訂版]（ナカニシヤ出版）				
参考図書	小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理：「いのち」は誰が決めるのか』 （ちくまプリマー新書） 香川知晶『命は誰のものか』（ディスカバー携書）				

備 考	<p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>○各回の授業の前後に、生命倫理にテーマに関わる記事などを、新聞やネットで調べて来ててください。</p> <p>○質問等は、基本的に授業終了後に教室で受付けます。</p>
授 業 計 画	
<p>《講義テーマ》</p> <p>第一回 倫理と応用倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理と哲学はどう違うのか？・医療という技術は他の技術と何が違うのか？</li> <li>・倫理の問題に答えはあるのか？</li> </ul> <p>第二回 パターナリズムと自己決定権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療者の倫理とは？・私たちは自分のことを自分で決められるのか？</li> <li>・インフォームドコンセントとは</li> </ul> <p>第三回 遺伝子治療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトゲノムの解読は医療をどう変えるか？・人はいつから人になるか？（パーソン論）</li> </ul> <p>第四回 出生前診断と優生思想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命の選別は許されるか？・人工妊娠中絶は医用行為か？</li> <li>・優れた生とは何なのか？</li> </ul> <p>第五回 不妊治療と代理母</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体外受精、代理母は許されるか？・産む人間の権利か、産まれる人間の権利か？</li> <li>・クローン人間の作成が許されないのはなぜか？</li> </ul> <p>第六回 生殖に関する倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回復不能な子どもの治療を停止してよいか？</li> <li>・安楽死（尊厳死）の是非について</li> </ul> <p>第七回 終末期医療と臓器移植</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳死は人の死か？・臓器はモノなのか？</li> <li>・再生医療の現在</li> </ul> <p>第八回 宗教上の治療拒否</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信仰の自由か、救命か？・子どもの治療を親が決めていいのか？（代理同意）</li> </ul>	